

瑞穂市図書館だより

「読書のまち みずほ」をめざして、子どもの読書活動を推進しています。

2025. 12 第 115 号

本館 058-326-2300

分館 058-328-7070

今年も残すところあと1ヵ月となりました。だんだん忙しくなってくる年末ですが、休憩がてらゆっくり読書なんていかがですか？物語の世界に浸るもよし、大掃除のコツやお料理のヒントを探すもよし、本がきっと忙しい皆さんの助けになってくれます。

さて、年末年始は12月29日(月)から1月5日(月)まで瑞穂市図書館は休館となります。2026年も瑞穂市図書館をよろしくお願いいたします。よいお年を！



12月のイベントカレンダー

<https://www.library-mizuho-gifu.jp>



日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2 休館日	3	4	5	6 ＜分館＞ おはなしの会
7	8 休館日	9	10	11	12 ＜本館＞ 未就園児向け おはなしの会	13 ＜分館＞ おはなしの会
14	15 休館日	16	17	18	19	20 ＜分館＞ おはなしの会
21	22 休館日	23	24	25	26 ＜分館＞ 未就園児向け おはなしの会	27 ＜分館＞ おはなしの会
28	29 休館日	30 休館日	31 休館日			

「おはなしの会」
「未就園児向けおはなしの会」

【分館】 毎週土曜日 14:30～ 絵本フロア
【本館】 第2金曜日 10:30～ おはなし室
【分館】 第4金曜日 10:30～ 絵本フロア

「映画鑑賞会」

【本館】 5/18、9/21、11/16、3/15 10:30～ 2階・学習室 定員20名



新刊PICKUP！

一般 ・ 児童



『旅する世界史教室』

＜204/ヤ＞

山本 直人//著 かんき出版

世界史。好きだった人もいると思いますが、苦手でできるだけ避けていた人も多くいることでしょう。本書は元添乗員の世界史講師が、本の中で楽しく旅をしながら世界の名所や遺跡の歴史を紹介してくれます。好きだった人も苦手だった人も、旅の中で歴史をのぞいてみませんか？



『読書会を魔女といっしょにやってみたら』

濱野 京子//著 あかね書房 ＜児/913/ハ＞

友達4人で「読書会」を始めた6年生の稀桜。会を重ねるごとに、友達や本への思いも大きくなって「本と出会える場を設けたい」と思うようになりました。自称「魔女」の愛沙さんに相談すると、大人たちにプレゼンすることに……。本への熱い思い、友情、希望に満ちた物語です。

※他にもまだまだあります♪ 一般(毎週土曜日発行)・児童(隔週土曜日発行)の新刊案内をご覧ください。両館お取り寄せできます。貸出中の場合は、予約できます。お気軽にお尋ねください。



『電池の図鑑』

＜572.1/ウ＞

臼田 昭司//著 技術評論社

私たちの生活に欠かせないと言っても過言ではないとても身近な存在、電池。そんな電池について実は詳しく知らないという人はたくさんいると思います。本書は電池の歴史や種類などの様々な知識を、豊富なイラストを交えて、大人から子どもまで楽しく学ぶことができます。少し電池について詳しくなってみませんか？



『グランド・フィーリング・ホテル』

＜E/フ＞

リディア ブランコヴィッチ//作 東京書籍

ようこそ！当ホテルには、いろんなオキモチさまがお泊りになっています。オイカリさまには広い部屋、カナシミさまの声には耳を澄ませて聞きのがさないように……。お客さまが快適にすごせるようにお手伝いするのが、支配人の仕事。さて、今日はどんなオキモチさまがいらっしゃるのでしょうか？

本館 テーマブック

今月のテーマ 『お正月迫る！』

新年を迎える準備はできたかい？



『知っておきたい
お正月の手引書』
東條 英利 // 著
<386.1./ト>
勉誠出版

大掃除

『すごい!セスキ掃除』
宮下 奈都 // 著
<597.9./ス>
文藝春秋



年賀状

『消しゴムはんこ。
で年賀状』
津久井 智子 // 著
<736./ツ>
大和書房



お正月飾り

『あっぱれ折り紙』
フチモト ムネジ // 著
<754.9./フ>
エムティエヌ
コーポレーション



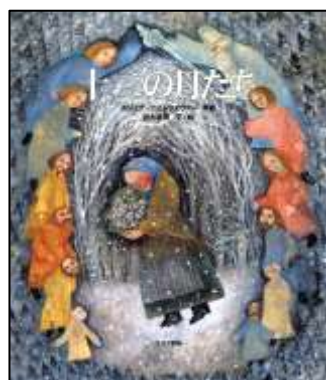
『いちばんくわしい
基本のおせち料理』
荒木 典子 // 著
<596.4./ア>
成美堂出版



おせち・お雑煮

分館 テーマブック

今月のテーマ 『冬・もうすぐお正月の本』



『十二の月たち』 <E/テ> 偕成社
ボジェナ ニェムツォヴァー // 再話 出久根 育 // 文絵
ある冬の日、マルシュカは、いじわるなママ母とその娘ホレナに「山からスミレをつんできてちょうだい」といつつけられました。マルシュカは雪山を寒さにふるえながら山の頂上までやってきました。そこには、12人の男たちがたき火をかこんですわっていました…。このお話はスラヴ地方で知られる民話です。

リブ
L・I・B

ヤングアダルト

YA向け おすすめの本



『メイドイン十四歳』 <913/イ>
石川 宏千花 // 著 講談社
中学2年生の藍堂はナチュラルボーン優等生。ある日、先生に頼まれて転校生の案内係になったが、転入初日に現れた転校生は、全身包帯でぐるぐる巻きという姿だった。どうも視認してもらえない病気を抱えているとのこと。クラスの皆は『透明人間』だと騒ぎ出し、案内係として近くにいる藍堂の立場も微妙なものとなっていくが…。



『中・高校生のためのブックガイド』
木下 通子 // 著 学事出版 <019/キ>
みなさんは「本」は好きですか？大好きな人、苦手、嫌い…と、色々な人が居ると思います。本書では、40年学校司書を務めた著者が、12の章に分けて、80冊の本を紹介しています。きっと、あなたに刺さる「本」と出会えるはずです。1冊選んで、読んでみませんか？

あたたかい暮らし



冬の寒さを乗り切るための、暮らし方の工夫の本をご紹介します。衣食住のちょっとした工夫で、暖くなる方法があります。本からヒントを得て、暖かく過ごしましょう。



『冬の本』
<019.9./フ>
北條 一浩 // 編
夏葉社



『ニットであったか冬じたく』
<594.3/ハ>
林 ことみ // 著
文化出版局



『カラダを温めて冷えをとる! 温活365日』
<493.1/イ>
石原 新菜 // 著
内外出版社



『そうだ、今日も鍋にしよう!』 <596/フ>
藤井 恵 // 著
講談社

